

医療法人錦秀会 阪和記念病院 広報誌



かきつばた

Vol. 3

January
2024

TAKE FREE



写真撮影者：梅田 香

URL : <https://kinshukai.or.jp>

新年挨拶

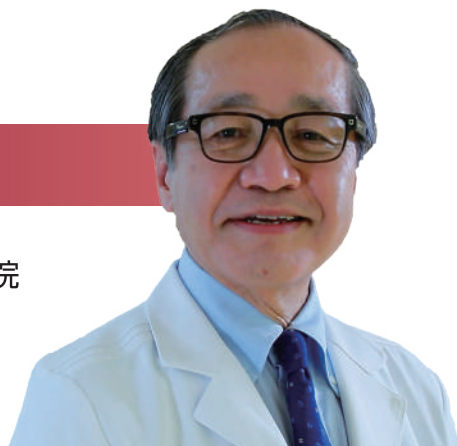
NEW YEAR GREETINGS



新年の言葉

阪和病院・阪和記念病院
統括院長・総長

北風 政史



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

私たちの新病院、阪和病院・阪和記念病院は1年半前に船出し、皆さんのご尽力で広い海を順調に航行しております。その目標は、病める患者さんに対して最高・最善の医療を提供することであり、そのためには職員一同が一致団結して「ベスト医療」の提供に当たっているところです。しかし、これまでのグループ内の4病院が2病院に集約されて一つの建物の中に入ったわけですから、いろいろな問題や葛藤も出てきますが、私たちは、納得のいく話し合いと相互理解にてこれらの事案を解決していきたく思います。

今年は、トップギアで未知の海に突き進み、患者さんの安心・安全・健康のために「断らない医療」に裏打ちされた「ベスト医療」を提供していきたいとします。「断らない医療」の実行には、院内・外においていろいろな工夫が必要となりますので、2病院間のコミュニケーションをも密にしていければと思います。

一般的に、高いパフォーマンスを維持している企業は共通して

1. 他社との差別化により顧客に価値を提供
2. 自社の存在が不可欠となるポジショニングと事業ポートフォリオ最適化
3. 他社との連携も視野に入れた継続的なイノベーション

の3点に特に力をいれています。一流企業であればあるほど、大胆な変化を恐れず、時代や自社にあった経営革新に合理的、積極的に取り組んでいます。私たちの病院は、収益増加を目的とした企業ではな

いのですが、その本質は、一流企業の取り組みと同じように、国内のみならず世界に向かってその高い医療・医学のパフォーマンスを示すことにあります。では、この「ベスト医療」の提供のために、私たちは具体的にどうすればいいのでしょうか？

そのベクトルの一つは「AIの医療への導入」です。現在、阪和記念病院では、患者さんの利便を考えて、スマートフォンによるご自分の臨床データ閲覧や受診の予約、受診時間のお知らせなどのシステムを取り入れる方向を進めております。さらに、今年から阪和病院・阪和記念病院で画像診断に対してAI支援を取り入れます。AIによる疾病発症予測なども診療内にとりいれて、「AIアシストによる質の高い医療」を提供いたします。AIはこれからの医療におけるキーワードとなりますが、私たちはいち早く医療にAIを取り込みます。

もう一つのベクトルは、「ビッグデータの医療の活用」です。今、医療界全体を俯瞰してみると、医療提供体制の見直しや保険外併用療養費制度の導入など、様々な改革が進んでいます。私たちは、この流れに適切に対応し、医療自体や患者さんのデータを統計的に分析するソフトウェアを錦秀会に導入する予定です。医療ビッグデータを集積し「数値化された医療の見える化」を実現するための取り組みです。これらの「断らない医療」「ハイスペックなAI医療」「ビッグデータを用いた数値化された見える化医療」は、私どもの大きな目標と考えます。

今年、阪和病院・阪和記念病院は地域からも国内外からも必要とされるハイスタンダードな医療提供を心掛けたいと思います。

今年もよろしくお願いいたします。



新年あけましておめでとうございます

阪和記念病院
院長

藤田 敏晃



新年あけましておめでとうございます。新病院も開院1年半が過ぎ、順調に…と言いたところですが、まだまだ難問山積みです。

年明け早々の1月1日に北陸・能登半島を大きな地震が襲いました。この稿を書いている時点では、行方不明者がまだ100人以上と報告されています。寒い時期の震災は、阪神淡路や東日本の大震災の時の大変さが蘇ってきます。一刻も早い原状復帰が望まれます。また翌2日にはその被災地に物資を運ぼうとしていた海上保安庁の飛行機と日本航空の飛行機が滑走路上で衝突炎上するという事故が起こりました。現時点では事故原因ははっきりと特定されていませんが、何らかの人的ミスがあったのではないかと思います。

医療安全にもつながる確認作業は、もとは航空機

の事故をきっかけに発展してきたものです。我々も患者の取り違えや、誤投薬など医療業界でも多くの事故が発生します。それらを防止していく策の大本が航空業界にあったはずなのに、その本家本元で今回のような事故が起こってしまったことは我々にとっても非常にショッキングなできごとです。これからも医療安全にはさらに留意すべきであると襟を正す気持ちです。

さて、今年は消化器外科のメンバーが一新され、新たな気持ちでの消化器センターの発進となります。また4月には心臓血管センターの充実化も行われる予定です。

これからも救急医療を通じて地域の皆様のお役に立てるよう頑張ってお参りますので、よろしくお願いいたします。





入退院管理センター
室長 副院長
佐々木 学

新年明けましておめでとうございます。

入退院管理センターは、2023年4月に開設され、入退院部門として病院全体の病床把握と入院・退院の調整の役割を担っています。

また予約入院患者様の入院前の説明や、自宅での生活情報を伺うことで入院から退院までの調整がスムーズにできるように支援すること、緊急入院の患者様の退院にむけた調整を、早期に病棟看護師と医療相談員との連携をはかり、退院後に必要な介護や看護を受けていただけるように、患者様やご家族様とのご相談をしながら、支援ができるように努めています。

今後ともスタッフ一同、よりよい支援ができるように努力していきますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新年あけましておめでとうございます。

昨年9月に阪和記念病院の看護部長として就任し、新年を迎えることが出来ました。日頃からの皆様のご支援に感謝いたします。

当院看護部は地域社会の健康維持に貢献するために、心温かい看護の提供を目指して参りました。今年も、地域の医療機関・介護施設・訪問看護等と連携をとりながら、地域住民の皆様と顔の見える関係性づくりを継続し、安心して暮らすことが出来る町づくりに参画していきたいと考えています。

辰年は変革の年と言われています。看護部として、さらなる変革と改善をめざし看護の質向上に努めて参ります。



看護部長
太田 富美子



薬剤部 部長
玉登 まき

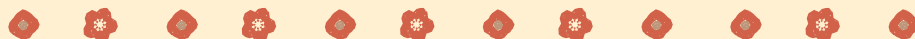
新年明けましておめでとうございます。

阪和記念病院は、令和4年6月に開院し2年目を迎えることとなりました。

これも、患者様、地域の皆様のおかげで支えられていることと感謝申し上げます。

今年も薬剤部では、有効かつ安全な薬物治療の提供に貢献することを目標とし、医師および看護師をはじめとする医療スタッフと連携しながら日々の薬剤業務に取り組む所存です。今後も地域医療に寄与できるように、薬の専門家として努力して参ります。

令和6年が皆様にとって素晴らしい1年となりますように祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。





新年あけましておめでとうございます。健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は錦秀会として新たな第一歩を踏み出し始めた年でした。錦秀会にとって最大のプロジェクトでもあります一棟二病院（阪和病院、阪和記念病院）住吉区にございました錦秀会系列の4病院が集結し、新・阪和記念病院として6月からスタートをきりました。元来の脳神経外科や循環器内科、人工透析科に加え、阪和住吉総合病院の消化器センター、整形外科や泌尿器科、さらに人工関節センター、脊椎・脊髄外科の標榜を増設、外来診療では阪和病院の眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科と阪和第二病院の療養病床も加わり、急性期疾患から回復期、慢性期を包摂するケア・ミックス型病院となりました。

数年続く新型コロナウィルスの対策に終止符が打たれようという兆しが見え隠れし、警戒をとけない時代ではございますが地域の皆様、ご来院される全ての皆様にとって、より幅広く、より質の良い医療提供をさせて頂くため私たち職員一同より一層、皆様に安心して頂けるよう邁進してまいります。

皆様のご健勝ご多幸をお祈りいたしまして新年の挨拶とさせていただきます。本年も何卒よろしくお願いいたします。



事務長
安永 幸司



放射線科 課長
岡崎 仁彦

新年明けましておめでとうございます。

放射線科一同、皆様にとって健康で希望に満ちた年でありますように心からお祈りいたします。

新たな年が始まり、より一層の医療向上に努め、身体のお悩みをお任せいただければ、安心して検査が行えるように努力してまいります。また放射線科では最新の技術と専門知識を駆使し的確かつ迅速な検査及び診断を心掛けていきます。

患者様一人ひとりに寄り添い安心して検査が出来る様に日々精進してまいりますので今年もまたよろしくお願いいたします。



明けましておめでとうございます。

検査室は患者様から採取した検体を取り扱う検体検査と直接患者様に触れて行う生理検査の2本柱で業務を行っています。

業務内容は全く異なりますが、どちらの検査でも患者様にとって有益な情報を提供することを第一としています。その為、知識・技術の自己研鑽に努めてまいります。



臨床検査部 課長
小原 浩一





リハビリテーション部
課長

海瀬 一也

新年あけましておめでとうございます。まだまだ面会制限の続く中で、皆様にはご心配とご迷惑をおかけしております。

現在患者様へのリハビリテーションの介入においては以前ほどの制限なく介入出来るようになってきておりますが、まだご家族様と一緒にリハビリテーションを実施する状況にはございません。実際のリハビリ場面を見て、そして参加して頂けると皆様の安心に繋がるのではないかと思います。今年度はご家族様に一緒に参加して貰える状況になっていけることを願うばかりです。

当部署も開院から1年以上経過し、各診療科の先生方や病棟スタッフ、そして関連する多職種のスタッフ等と連携・模索を続けながら段々と新しい形が出来てきました。一般病棟・回復期病棟・地域包括ケア病棟・療養病棟各々の特色の中で、病棟移動となった患者様に対してもシームレスな(継ぎ目のない)対応が出来るように、それまでの経過の分かるスタッフと情報を共有しながらの対応を心がけております。

今後もより一層知識・技術・スタッフ連携の向上を目指して努力して参りますので今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

昨年は移転して、新病院として1周年を無事迎えることができ、皆様のご協力により安全で円滑な医療を届けることができたのではないかと思います。

臨床工学部では、昨年より循環器業務を本格的に再開するにあたり、心臓カテーテル業務の介入、ダヴィンチの導入にあたり、装置のセッティングなどサポートに努めて参りました。

私達は学会活動や知識・技術の自己研鑽に努め、医療の質を向上していくことを目標としたいと思います。

医療安全を目標に安心・安全な治療に貢献して参りたいと思いますので、今年もよろしくお願い申し上げます。



臨床工学部 係長

今川 恵吾



歯科衛生士 係長

仁尾 公美子

新年明けましておめでとうございます。

昨年、コロナウイルス感染症が5類になりましたが、コロナ禍が完全に収束したと思えない状況でした。病院の感染対策にご理解ご協力いただきましたことを感謝しております。

「口の中をきれいにしておく感染症にかかりにくい」ことをご存じでしょうか？口腔ケアは様々な感染対策の要となります。歯科衛生部門では病院を利用される皆様のお口の健康づくりをサポートできるよう院内各部門と連携し、地域の歯科医師、歯科衛生士の皆様にご協力頂きながら医科歯科連携を推進して参りました。

今年も急性期から慢性期まで幅広い患者様に寄り添い、安心して患者様・家族様に病院を利用して頂けるよう、より一層知識・技術の向上に努力して参ります。

今年1年が皆様にとって良い年でありますように心よりお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年開けましておめでとうございます。

昨年の食に関する時事は、食材の度重なる値上げに加え、「鳥インフルエンザ」が過去最大の感染拡大となり卵の高騰や供給不足、卵加工品の入手困難などもあり、度々献立の変更や工夫を余儀なくされた1年でした。

10月に実施した嗜好調査では、直接患者様から食事についてのご意見を聞く事ができ、中には厳しい意見を頂く事もありましたが、「いつもありがとう」や「おいしく頂いているよ」など声を掛けて頂き、励みとなりました。

これらのご意見は、本年の給食業務や栄養管理、栄養相談へと繋げていける様に取り組んで参ります。

本年もよろしくお願いいたします。



栄養部 課長

尾上 理香



地域社会部
医療福祉相談課 課長
雨宮 百里

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、患者様やご家族様にはマスク着用や手指消毒のご協力、また様々な制限に対してもご理解いただき心より感謝しております。

診療科目や病床数が増え、病院機能も多機能となった当院が、安心して医療を受けられ、地域の皆様に利用していただきやすい病院となるよう引き続き取り組んで参ります。

また、当相談室に寄せられる相談内容は多岐にわたり、相談員ひとりひとりの知識や技量がより必要となっていると感じています。患者様ご家族様のみならず、多機関の皆様に安心してご相談いただける部署となるよう努めて参ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年あけましておめでとうございます。

地域の医療機関や介護施設の皆様におかれましては、日頃より多くの紹介をいただき、また当院地域医療連携課をご利用いただきありがとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが、季節性インフルエンザと同等の「5類」に移行し、道行く人々や子どもたちも、マスクを外し、学校行事も再開し、少しずつコロナ前の日常生活が戻ってきたように感じます。

当院も、コロナ病棟を閉鎖し、一部閉鎖していた病棟も、療養型病棟としてオープンし、急性期病棟・地域包括ケア病棟・回復期病棟・療養病棟の合計481床全て稼働できるようになりました。

また、新築移転から二年目を迎え、日々の業務の混乱も落ち着き、紹介患者さんの受け入れや、予約業務も以前より円滑に行えるようになりました。

今年は地域の医療機関との連携をより密に、紹介患者さんをよりスムーズに受け入れできるよう地域医療連携課一丸となり努力していきたいと思っております。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。



地域社会部
地域医療連携課 係長
北野 未緒

入退院管理センターの開設

当院では2023年4月より新たに入退院管理センターを導入いたしました。

入退院管理センターの役割の一つに「退院支援」と「退院調整」があります。「退院支援」とは、患者様が自分の病気や障害を理解し、退院後も継続が必要な医療や看護を受けながらどこで療養するか、どのような生活を送るかを患者様・家族と一緒に考えて決定するための支援です。

また、「退院調整」とは患者様の思いや考えを実現するために、患者様・家族の意向を踏まえて環境・ヒト・モノを社会保障制度や社会資源につなぐための架け橋になることです。

部署設立以降、今まで以上のよりよい退院支援・退院調整を行うために患者様・家族を中心に病院の様々な職種がチームとなって連携しています。

また、入退院管理センターでは病院全体の病床管理を行っております。

当院での一般的な入院の流れですが、急な治療を要する際は HCU病棟や一般急性期病棟にご入院していただきます。

一般病棟で治療を終えられた後に退院に至らない場合は引き続き、地域包括ケア病棟や、疾患によっては回復期リハビリテーション病棟に転床いたします。



地域包括ケア病棟

自宅、施設へ安心して退院できるような支援が受けられる病棟

○適切な治療、生活環境を構築するため、服薬調整、栄養支援、療養相談や指導、機能訓練等を行い、住み慣れた場所での療養をサポートします。

回復期リハビリテーション病棟

自宅や社会に戻ってからの生活を少しでも元に近い状態に近づけるためのリハビリを専門に行っている病棟

○必要に応じて退院前に患者様と一緒にご自宅へ伺い、家庭内の改修・補助器具導入の調査や、自宅の段差などに合わせて強化したい訓練の見極めを行う家屋調査、また退院後に使える介護保険申請のお手伝いや各種サービスの調整をします。

上記病棟以外に4階フロアには療養型病棟がございます。

病状が安定した後も入院が必要な慢性期の患者様が自宅や施設に退院する事を目標に療養していただける病棟です。

上記のように様々な機能の病床を有しており、病状にあった病棟をご案内させていただいております。できる限りのサポートをさせていただきますので、ご理解・ご協力の程お願いいたします。



リハビリテーション機器の紹介

～歩行補助機器を中心に今回は3種類の
リハビリテーション機器について紹介させていただきます～



1. 体重免荷式歩行器（免荷式リフト POPO；ポポ）

歩行器にリフトが設置されており、体重を免荷しながら立位や歩行練習が実施できます。懸架式歩行練習とは異なり、体重の免荷が目的となります。こちらはより安全に過度な負荷に配慮するための歩行器となります。練習量という側面では懸架式歩行練習装置に利点があります。しかし、病棟でも実施できること、より低負荷から開始できることが体重免荷式歩行器の大きな利点となります。



練習場面

2. 懸架式歩行練習装置

レール走行式免荷リフトと呼ばれています。リモコン操作により、免荷を0～100kgまで調整することができスプリングハンガーにより転倒予防しながらの歩行練習が可能です。転倒するかしないかのギリギリの練習が安全に実施でき、これらが運動学習につながる可能性もあると言われています。また下肢装具やトレッドミル走行との併用も可能であり、安全な歩行練習を繰り返し実施していく装置となります。



練習場面 歩行練習



トレッドミル併用した練習

3. イージースタンド

歩行補助具ではないですが、歩行の要素に重要な下肢の交互運動を繰り返し実施できる機器となります。また油圧ポンプにより容易に座位から立位まで姿勢を変えることが可能です。また各種ベルトやサポーターにより固定性も高く安定した姿勢変換から立位での下肢運動が実現できます。歩行運動の一連の動きを再現できるわけではないですが、立位での連続した下肢運動は機能回復において重要な要素の一つとなります。体格や重症度にかかわらず実施できる点が大きな利点となります。



練習場面

以前より導入していた免荷式リフトPOPOは歩行器のように病室やベッドサイドへ持ち運び、早期離床の一手段として活用していました。今回、さらに紹介させていただいたレール走行式免荷リフトはリハビリ室内に設置されています。よってリハビリ室でしか使用はできませんが、免荷式リフトPOPOと比較し転倒予防に加え荷重を調整しながら、平行棒、歩行器、杖など様々な歩行補助具も併用の上、無理のない歩行練習が可能となっています。

より具体的な使用場面ですが、レール走行式免荷リフトは脳卒中により片麻痺を生じた方に対しては、麻痺側への負担軽減だけでなく、脚の振り出しを軽くし自身の力を発揮し向上させるような使い方が可能であり、レールの下にトレッドミルを設置し、患者様の身体機能に応じ体重免荷式トレッドミル歩行練習も行っています。さらに、脳卒中の方だけでなく、整形外科疾患(例：人工関節術後、大腿骨頸部骨折術後等)の方に対してもレール走行式免荷リフトを使用することで、転倒に対

する不安や恐怖心への配慮も行いながら早期歩行練習が可能となります。

いずれの機器も免荷量は療法士により調節が可能となっているため、その日の身体の調子(痛みや筋力等)や患者様の向上してきた身体機能に合わせて、徐々に免荷量を増やしたり減らしたりすることが簡単に可能となっています。

実際に使用した患者様からは、「転ける心配が無いので、安心して歩くことができた」や「歩行器や杖などの色んな物を試せるのでよかった」と自信やリハビリの意欲向上に繋がるような言葉を聞くことができました。

療法士からも身体が大きい方でも介助の負担が少なくリハビリを行えること、転倒に配慮しながら様々な歩行練習ができること、整形外科疾患の方の使用では下肢への荷重制限は無くても、なかなか力を入れられない人に、自然な形での歩行練習を行いながら荷重を確認しながらリハビリが進められるという点がメリットとして挙げられました。

今後も、リハビリテーション部として身体機能の向上に向けて様々な手段を用いながら関わらせて頂きたいと思います。



当院ドクターを
ご紹介！

PICK UP Dr.

Vol.3

ピックアップドクター



泌尿器科 部長

谷口 俊理

たにぐち しゅんり

■日本泌尿器科学会専門医

■ダ・ヴィンチサージカルシステム認定医

専門

- ☐ 泌尿器科全般
- ☐ 泌尿器科悪性腫瘍

■ ご受診相談はお電話で…

06-6696-5591 (代表)

早期の悪性腫瘍排尿障害の診断

当科は、尿路・男性生殖器を扱う診療科で診断から治療(手術入院加療含む)まで一貫して行っています。近年では前立腺癌、膀胱癌、腎癌などの泌尿器科系悪性腫瘍が増加傾向にあります。特に前立腺癌の増加は顕著で、当課では腫瘍マーカーによるスクリーニングや、診断目的の前立腺生検を積極的かつ早急に行っております。

ダ・ヴィンチシステムの導入

2023年1月よりダ・ヴィンチサージカルシステムを導入しており、ロボット支援内視鏡下治療を行っております。手術に関しては大阪医科薬科大学泌尿器教室をとりながら治療を行っており、安全かつ正確な医療を実践しております。

良性疾患にも力をいれており、特に尿路結石・前立腺肥大症の手術においては低侵襲かつ安全に施行できるように努めております。

◆尿路結石

経尿道的尿路結石破砕術を積極的に取り入れ、安全に施行しております。

◆前立腺肥大症

従来までの TUR-P(経尿道的前立腺切除術)はもちろん、PVP(経尿道的前立腺レーザー蒸散術)を導入しております。

急性・慢性疾患を問わず、ご相談ください。

■ 紹介状をお持ちの方は地域医療連携室へ…

お電話でのご予約は… **06-6696-0105 (直通)**

FAXでのご予約は… **06-6696-0106 (直通)**

泌尿器科の外来診療

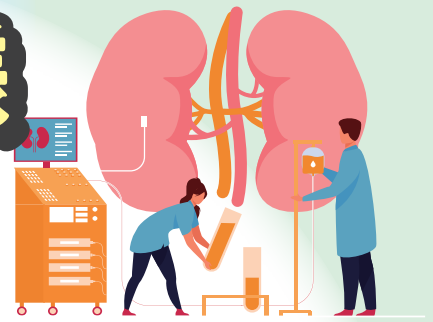
午前
午後

受付開始08:30 受付終了11:30(初診の方は、8:30~11:00)
受付開始12:30 受付終了16:00

	月	火	水	木	金	土
午前	谷口 俊理	寺本 晶司	田中 一輝	谷口 俊理	谷口 俊理	寺本 晶司
午後	田中 一輝	東 治人 専門外来		田中 一輝	東 治人 専門外来	

新規透析患者様 大募集!!

透析室の取り組み



その① I-HDF (間歇補充型血液透析濾過) を導入

透析の通院、透析後が少し楽になるかも・・・

透析室では、新病院へ移設してから I-HDF (間歇補充型血液透析濾過) を導入しています。I-HDF とは、一定間隔に透析液を補液・濾過を繰り返し、末梢循環の改善や治療中の血圧低下の軽減・予防などに効果があるとされています。

Online-HDF では、日本で主流の前希釈ほうではなく海外で普及している後希釈法を選択しており、前希釈と比べて透析効率がよく大分子量の除去や血圧安定の面で優位にあります。

透析液清浄化の管理として、定期的に生菌・エンドキシン採取や、週に 2 回熱水洗浄を組み込んでおります。

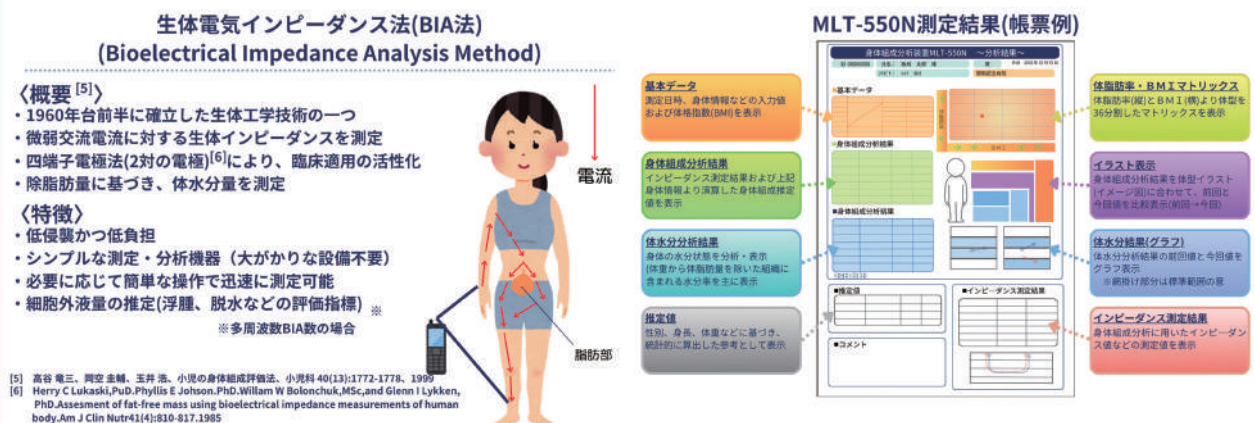
また新しい DW 評価として MLT (身体組成分析装置) を導入しています。MLT は生体電気インピーダンス計測技術を応用し、体水分量や脂肪量を測定することができます。

その②コンテンツの使用ができる

透析中でも患者様が退屈しないように各ベッド備え付けのモニタ (TV) では、地上波の番組視聴だけではなく、HDMI 端子を使用しコンテンツ幅を広げられる媒体の利用を勧めております。

代表例としては Fire TV stick で、Youtube や Netflix 等の視聴ができます。

※媒体・各コンテンツ契約はご自身で準備が必要となります。



口腔ケアで インフルエンザ対策



寒さも本格的になってきたこの頃。年末年始は忙しくて、体調管理にも気を使っている方も多いのではないのでしょうか。

歯磨きなど適切な口腔ケアをすることで、お口の中のウイルスを減らしたり、ウイルスが細胞へ付着するのを抑制する効果があるとわかってきました。

インフルエンザや新型コロナの感染を予防するには、お口の中をキレイにすることがとっても重要です。

歯磨き... 適度な力で、1本ずつ丁寧に磨きましょう。

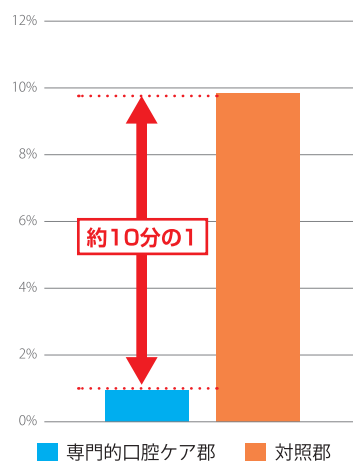
歯と歯の間のお手入れ... デンタルフロスや歯間ブラシなどご自身にあったものを使用しましょう。

舌磨き... 適舌の汚れは口臭の原因にもなります。

入れ歯の洗浄... 適洗浄剤だけでなく、ブラシでしっかり洗いましょう。

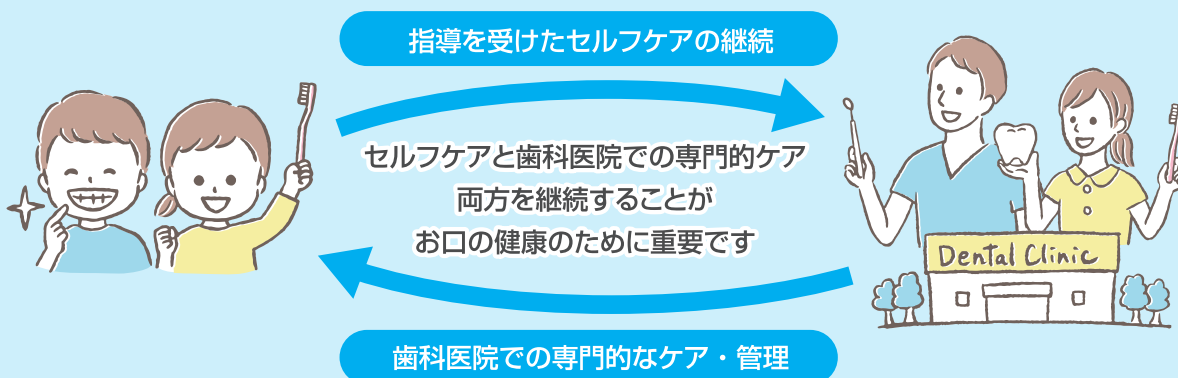
うがい... しっかりうがいをする事で、お口の筋トレ効果もあります。

インフルエンザ発症率



平成15年老人保健健康増進事業
口腔ケアによる気道感染予防教室の実施方法と
有効性の評価に関する研究事業報告書より抜粋

お口の健康を保つために、定期的に歯科受診をしましょう





総合案内

正面玄関入ってすぐに総合案内の窓口がございます。
患者様の状態をお伺いし、その方の症状に合った診療科へご案内させていただきます。ご入院の手続きや診断書等の書類申請や、保険証の確認など不明な点がございましたらご相談ください。

院内案内係（リボン着用スタッフ）

◎お困りの事があればお手伝いさせていただきますのでおひとりでご受診の際など、お気軽にお声かけください。

- ・受診方法(再来機での受付方法)
- ・車いすご利用
- ・入院患者様のお荷物をお持ち頂いた時など

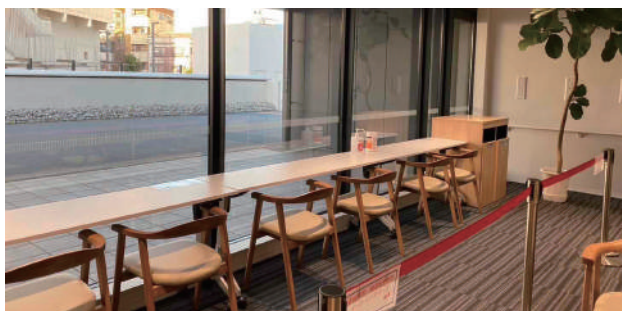
何かございましたらお手伝いさせていただきますのでお気軽にお声かけください。



イートインスペース出来ました！

場 所 1階フロア テレビ前のスペース

検査受診の為、絶食でお越しの方など待ち時間に軽食をして頂けるスペースが出来ました。地下1階には8:00~19:00までミニストップもございますのでぜひご利用ください。



AQUA ART

正面玄関入ってすぐ1Fフロアにございます!!

色鮮やかな10種類の熱帯魚がみなさまをお出迎え。
見ているだけで癒されますので是非足を止めてご覧ください。



マイナンバーカードでの 保険証確認が可能になりました！

- ・月に1度の保険証の確認をマイナンバーカードをご提示頂く事で保険情報の確認が可能になりました。

※医療証の確認は現段階ではマイナンバーでの確認が出来ない為、今まで通りご持参をお願いします。



大阪市特定検診・がん検診について

火曜日から金曜日 8:30~11:30までの受付

当院実施可能ながん検診の一覧

- 胃がん検診(胃内視鏡検査) ●大腸がん検診
- 肺がん検診 ●前立腺がん検診

【定期的に受診し、生活習慣病の予防と早期発見に努めましょう!!】



※公式 大阪市広報より引用

病院食の新しい取り組みについて紹介致します

当院の病院食では、奴豆腐をよく提供させていただくのですが、減塩が必要な方に対しては醤油の量を半量程に減らして提供しなければならないことがあります。そのため、減塩食を食べている患者様からは味が薄いといったお声を聞くことがあり、また、時間経過で豆腐から出てくる水分と醤油が混ざって、より味が薄くなってしまうという問題点がありました。

そこで、少しでも食べやすくなる工夫として、醤油の量は減らしたままで、醤油の3倍量の出し汁を加えた後、固形化補助粉末の「まとめるこ」を使用して、とろみを付けることを始めました。

とろみが付いていることで舌で塩味を感じやすくなるため、だし汁を加えていても味の薄まりをほとんど感じることはないまま、全体量が多くなるので豆腐にかかる量が増えて、食べやすくなったのではないかと思います。また、とろみが付くことで豆腐の上に醤油がとどまりやすくなり、豆腐から出た水分と混ざってしまうことも軽減されました。さらに、嚥下調整食を提供している方からは、とろみが付いている醤油の方が食べやすいといったお声も聞かれました。

今後も、皆さんに美味しいと思っていただけるような献立作りや調理に、栄養部一同努めて参りたいと思います。



大阪の街を楽しくおさんぽ
病院 × オススメ

おさんぽMAP

02 『たけの子』

ぐんぐん育って45年目!
地元のおいしい笑顔集う
お好み&もんじゃ焼の楽園

充実した逸品料理はどれも絶品!



お好み焼き

中井さん
ご夫妻は
地元中学の
同級生!



モダン焼



手羽先



ホルモン塩やきそば



ホルモン焼



もんじゃ焼

てくてくてく徒歩3分で到着!

阪和記念病院から西(阪和線の方向)に向かっ約240m徒歩約3分の近さ。「創業昭和54年」の看板が目印です。

わくわく
東西下町グルメ対決中!

目に飛び込んでくる「お好み焼」「もんじゃ焼」の文字。関西ではあまりお目にかからないお江戸のソウルフードが我孫子で楽しめます。さらに旨さの魔法「和牛油かす」を使ったメニューも大好評。どうにしようか迷うあなたに中井さんから納得のアドバイスが。常連さんは、お好み焼↓

我孫子出身の中井英人(ひでと)さん、由紀子(ゆきこ)さんご夫妻が営む「たけの子」は、1979年に英人さんのお母さんが創業し、約14年前にバトンタッチして今年45年目に。これからもアットホームな雰囲気大切に、美味しく楽しい店づくりへ二人三脚で!

もんじゃ焼き↓焼きそばの3種目制覇でオーダーされるとのこと。東西の下町グルメを仲良く満喫できます。

ぞくぞくサイド
メニューも待機中!

玉子焼き、豚キムチ、手羽先、揚げ塩、おにぎり……

壁に並んだ写真にそえられる方も多しはす。ソウルフードにプラスして楽しめる一品逸品が充実。お酒の肴目当ての宴会派、パーティー派、2次会派にも大人気。まさに美味しさ多彩な楽園です。

ゆつくり&ワイワイ
1階25席と2階15席で
使い方自在

お一人ゆつくりから仲間ご家族でワイワイまで。そしてお子様からシニアまで年齢不問と、どんなご利用シーンにも応えてくれるのも、たけの子が愛される理由。2階席は隠れ家風でたけの子ファン手作りのエンプレムから「この店が大好き」の熱い想いが伝わってきます。

にっこにSNSで
美味しい笑顔発信中!

店内に飾られたお客様の写真は英人さん撮影。いろんな方の幸せな笑顔が咲いています。写真はSNSでも公開中。フレンドリーなたけの子ファンはますます増え続けることでしょ(もちろん英人さんの趣味であるサーフィン仲間にもファン増殖中)。みなさんぜひ、たけの子で幸せな時間をお過ごしください。



DATA

たけの子

大阪市住吉区我孫子西2-8-21 ○阪和記念病院から170m我孫子町駅から203m

【営業時間】昼 11:00~13:30/夜 17:00~23:00 定休日 月曜

【予約・お問い合わせ】 06-6697-9346

Instagram



ACCESS MAP

アクセスマップ



電車の方

- JR阪和線「我孫子町」駅より徒歩5分
- 南海高野線「沢ノ町」駅より徒歩10分
- 大阪メトロ堂筋線「長居」または「あびこ」より徒歩20分



お車の方

- あべの筋「千駄」交差点より長居公園通りを東へ約700m、「長居西2」交差点を右折南へ約500m
- あびこ筋「長居」交差点より長居公園通を西へ約600m、「長居西2」交差点を左折南へ約500m

医療法人錦秀会

阪和記念病院

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉3-5-8

TEL.06-6696-5591 (代表)
FAX.06-6105-0119



〈阪和記念病院ホームページ〉

阪和記念病院

検索

<https://kinshukai.or.jp>